

観峰館収蔵品目録 (Ⅷ) — 法帖 (三) (顔真卿 二) — 観峰館学芸部

はじめに

観峰館では、近代中国書画を中心とする約二万五千点に及ぶ所蔵作品の継続的な調査研究を実施している。本稿は、その成果公表を目的としたものである。

第十五号より、中国古典の法帖を取り上げており、第七回では、唐代の書家・顔真卿（七〇九～七八五）の法帖を特集した。顔真卿の法帖は、当館本館三階の常設展示「書の歴史」の中で随時展示公開しているほか、様々な企画展・平常展示にも出品している。

顔真卿の法帖は、全部で十四種類が所蔵されている。その内容は「多宝塔碑」に始まり、「争坐位稿」「麻姑仙壇記」「顔氏家廟碑」など、よく知られた作品だけでなく、「郭氏家廟碑」「藏懷恪碑」「元結碑」など、他の優れた法帖も多く含まれている。中には、「顔魯公三表真蹟」「顔勤礼碑」のような清時代以降、巷間に出た墨跡・石碑などの法帖も含まれており、これは当該期のものを中心とする観峰コレクションの特徴に当てはまるものといえよう。そして前号でも言及したように、近代に翻刻されたものや、日本で刊行されたものもあり、多岐にわたる種類の法帖を含んでいる。

本稿では、全十四種類の中、年齢順の後半にあたる六種類（九～十四）を取り上げる。画像は、精拓本及び翻刻本を掲載するほか、跋文や一部収蔵印などの情報も提示することとする。

先学諸氏の批正をいただければ幸いである。

【凡例】

- 一、法量は、縦×横（cm）で表記した。
- 一、制作年代は、原跡及び建碑の年代とした。
- 一、写真撮影、法量測定、釈文解説は、観峰館学芸部（瀬川・寺前・根来）が分担し、編集は寺前が担当した。
- 一、参考文献は枚挙に遑がないが、作品解説の執筆にあたっては、主に東京国立博物館『特別展 顔真卿』図録（二〇一九年）を参照した。
- 一、拓本の欠損部分については、『中国書法全集』第二十六卷（榮豊齋、一九九三年）掲載の解説を参照した。

【作品解説】

（九） 送劉太冲序

大暦七年（七七二）頃筆、顔真卿六十四歳時の作品。劉太冲（生卒年不詳）は、安史の乱の際、顔真卿に力を貸した人物である。しかし、官位は不遇のままに、西に向かうこととなり、その送別の意を表して書いたものである。その書は、筆捌きも柔和で軽快な趣があり、同年頃の筆とされる「与蔡明遠帖」と、その書風が似通う部分も多い。

所蔵本は一種類のみで、南宋・慶元五年（一一九九）、戴援題跋を含む翻刻本である。その全文は、王昶著『金石萃編』宋編に詳しい。表紙裏には収蔵印が見られる。

なお参考までに、「忠義堂帖」（帖―集―061）所収の同拓本

も併せて掲出しておく。

【題跋】

右顏魯公帖□番本廻送劉太冲叙也併

及其仲氏太真□旧

唐史文芸有太真伝

不紀其与伯氏繼□（蓋カ）

天宝上第文集三十

卷見館閣書目墓在

県北号柘塘神市人

月有祭禱必応漂陽

人尤神之神道碑裴

度譔蒋潼書昔（？）曾易

□（置カ）□廨旋軫県斎援

到官初得之県庖下

僅□（存カ）□百七十有九

字同郡李兼経従相

與起□□（郷カ）賢出其家

藏顏帖再摸入石并

断碑□□序壁叙言

彭城華望以劉於此

邑為著□□纂云宣

城陳留是也開府澤

州公山正礼□（表カ）其先

世也平原従事銓部

甲乙顏常汲引□也

蹉跎卑位悼其窮也

句溪春水此邑時属

宛陵也鄭薰北望樓

記言元載貶顏夷陵

別駕後遷廬陵刺史

道出荊塘有左伯桃

詩第序腦亡太冲彭三字考汝越帖亦然

莫可補闕云慶元己

未上已宣城戴援跋

邑人奏（？）掲書額

跳陵潘壽仁模刻

※□は、現状の拓本で判読不能な部分。

（十）宋璟碑

大曆七年（七七二）筆、顏真卿六十五歳時の作品。「広平文貞

公宋公碑」ともいう。唐・玄宗皇帝時代の宰相として名高い宋璟

（六六三―七七三）の神道碑。宋璟の孫・宋儼に乞われ書いたという。

その碑は、河北省沙河に在る宋璟の墓の側に現存する。

また側記は、同時期に完成していたものの、刊石に及ばず、大

曆十三年（七七八）に至って書かれ、碑側としたもの。翁方綱は

後に顔書最高の傑作と評している。

所蔵本は四種類あり、陽・陰・側と側記が揃うのは「碑―顔―

019」のみである。しかしながら、拓調が必ずしも良好ではな

いため、陽は「碑―顔―018」、陰は「碑―顔―020」、側記

は「碑―顔―019」をそれぞれ掲出する。

状態の良い拓本は稀少とされる。僅かに、側記八字欠損の宋掲

本が存したとされるが、既に失われている。現存する拓本の多くが翻刻本である。

そして、拓本の新旧の判断は、明末初搨本との比較により、次の①・②の字が完好か否かが判断基準となる。

① 碑陽第四行「殷王之子」の「子」字

② 同第十一行「遷天官」の「官」字

また、道光搨本では、次の③の字が欠損しているか否かが判断基準となる。

③ 碑陰第八行「左論」「篤前」の四字

以上の判断基準に鑑みると、当館所蔵本は、いずれも翻刻本の可能性がある。

(十二) 元結碑

大暦七年(七七二)頃筆、顔真卿六十五歳時の作品。「元結墓碑」「元次山碑」ともいう。顔真卿の盟友で、政治・文学にも長じた元結(生卒年不詳)の事績を述べたもの。元結は、「大唐中興頌」を撰文したことも知られる。その碑は、河南省魯山に現存する。所蔵本は一種類のみで、残念ながら碑陰は途中で欠失している。

早期に採拓された善本は少なく、元明期搨本との比較から、

① 陽第一行「経歴」二字

② 同「元君」の「元」字

が未損か否かが判断基準となる。

当館所蔵本は、該当部分が欠損しており、古くとも清時代以降に採拓されたものであろう。

(十二) 干禄字書

大暦九年(七七四)筆、顔真卿六十六歳時の作品。「顔氏干禄字書」ともいう。顔真卿の叔父・顔元孫(?-七一四)の著作。「干禄」とは仕官の意で、漢字一文字に正字・俗字・通字の三種を挙げて説明したもの。

所蔵本は一種類のみで、残念ながら碑陰は途中で欠失している。

(十三) 顔勤礼碑

大暦十四年(七七九)筆、顔真卿七十一歳時の作品。顔真卿の曾祖父・顔師古(五八一-六四五)の弟・顔勤礼(生卒年不詳)とその子孫の顕彰碑。民国十一年(一九二二)、何夢庚によって、西安の布政使所属倉庫の後方土中より発見された。その経緯は、翌十二年(一九二三)に書かれた宋伯魯(一八五六-一九三二)の題跋に詳しい。石碑は、現在、西安碑林博物館に所蔵されている。所蔵本は三種類あり、拓調の良い「拓帖-113」を掲出した。いずれも宋伯魯(一八五四-一九三二)の題跋を有する。

【宋伯魯題跋】

右唐夔州都督府長史顔勤礼碑曾孫魯郡公真卿撰并書民国十一年壬戌十月之初何客星宮長獲之長安旧藩廨庫堂後土中石已中断上下皆完好無缺泐案此碑久無知者僅見於六一集古録及題跋意趙宋時尚盛行於世元明以後陵遷谷賈此碑埋没長安城中垂千年後之金石家不特未嘗寓目並其名亦鮮知之者此碑立於大歷十四年時公年七

十五家廟碑立於建中元年僅隔一歲工石
皆在長安而一隱一顯豈亦有數存乎

其間耶歐公嘗云顏書如忠臣烈士道德君

子其端莊尊重人初見而畏之然愈久

愈可愛山谷亦云魯公書奇偉秀拔奄

有魏晉隋唐以來風流氣骨宜為後代

所寶也客星酷著金石得此喜而不寐拓

以見示屬識顛末其旁以見神物之出

初非偶然也客星河南 癸亥孟春醴泉宋伯

魯跋

(十四) 顏氏家廟碑

建中元年(七八〇)筆、顏真卿七十二歲時の作品。顏真卿の父・
顏惟貞を中心に、顏氏一族の業績を刻んだ顕彰碑。碑の四面を通
しての厳格な書風は、顏真卿の集大成ともいえよう。碑額は、李
陽冰(生卒年不詳)が書いている。

その碑は、既に唐代に倒臥しており、宋・太平興国七年(九八二)
に及んで李延襲(生卒年不詳)により発見され、府城内の孔子廟
内に移されたという。この経緯は、題跋に詳しい。石碑は、現在、
西安碑林博物館に安置されており、また当館には、その復元石碑
がある。

所蔵本は、縮本も含め十種類あり、精拓本と考えられる「碑―
顔―029」を掲出した。同本には、末尾に碑陽首行の下部にあ
る題記、末尾にある題記がある。但し、いずれも李陽冰筆の碑額
は含まれていない。

なお題記の釈文については、『中国石刻大観精粹編 題跋集』

(同朋舎出版、一九九三年)を参照したが、「先聖文宣」より「秉
筆書記」迄は、所蔵本にて補った。

【題跋】

太平興国七

年八月二十九

日重立李延

襲記

顏真卿之隸書李陽冰之古篆二俱

奇絶也好古之士重如珠璧自唐室離(罹)

乱其碑倒於郊野塵土之内更慮年深

為牧童樵叟之所毀壞且夫物不終

否能者即興有都院孔目官李延襲

者真好古博雅君子也特上告

知府郎中移載入於府城立於

先聖文宣王廟庶其永示多人流伝

千古乃命南岳夢英大師秉筆書記

時 太平興国七年八月廿九日移

朝散大夫行殿中侍御史通判永興軍府事師顔

朝散大夫行尚書考功員外郎權知永興軍府事柱

国李準重立

都料匠田密

No	資料番号	作品名	制作年	法量(縦×横)	冊数	跋・印
送劉太冲序						
1	帖一単—082	送劉太冲序（翻刻本）	大曆7年（772）頃	29.4×17.9cm	1冊	戴援跋・印有
宋璟碑						
2	碑一顔—018	宋璟碑 陽・左側・陰	大曆7年（772）	37.0×20.8cm	2冊	
3	碑一顔—019	宋璟碑 陽・左側・陰・側記	大曆7年（772）・同13年（778）	32.6×21.5cm	2冊	
4	碑一顔—020	宋璟碑 陰	大曆7年（772）	35.0×21.5cm	1冊	
5	碑一顔—021	宋璟碑 側記	大曆13年（778）	34.5×21.0cm	1冊	印有
元結碑						
6	碑一顔—017	元結碑	大曆7年（772）頃	33.5×20.0cm	1冊	
干祿字書						
7	碑一顔—031	干祿字書	大曆9年（774）	41.6×20.8cm	1冊	
顔勤礼碑						
8	碑一顔—022	顔勤礼碑	大曆14年（779）	35.2×21.7cm	1冊	
9	碑一追—001	顔勤礼碑	大曆14年（779）	30.8×22.7cm	1冊	
10	拓帖-113	顔勤礼碑	大曆14年（779）	32.0×20.6cm	1冊	宋伯魯跋
顔氏家廟碑						
11	碑一顔—026	顔氏家廟碑	建中元年（780）	31.4×20.4cm	4冊	
12	碑一顔—028	顔氏家廟碑	建中元年（780）	33.3×19.8cm	1冊	
13	碑一顔—029	顔氏家廟碑	建中元年（780）	31.8×19.0cm	4冊	題記
14	碑一顔—024	顔氏家廟碑 上・中・下	建中元年（780）	28.2×20.3cm	3冊	
15	碑一顔—025	顔氏家廟碑 全	建中元年（780）	31.5×19.5cm	1冊	印有
16	碑一顔—027	顔氏家廟碑 陽	建中元年（780）	32.5×19.8cm	2冊	
17	碑一顔—032	顔氏家廟碑 中	建中元年（780）	29.2×18.4cm	1冊	印有
18	碑一顔—023	顔氏家廟碑 側	建中元年（780）	29.0×13.5cm	1冊	
19	碑一顔—030	顔氏家廟碑 側	建中元年（780）	27.5×17.1cm	1冊	
20	帖一単—012	顔氏家廟碑 縮本	建中元年（780）	25.1×12.7cm	1冊	



同 第二開



送劉太冲序 第一開
(帖一單—082)



同 第四開



同 第三開



同 第六開



同 第五開



同 第八開



同 第七開



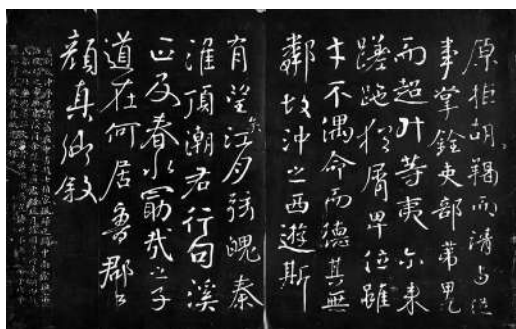
同 第十開



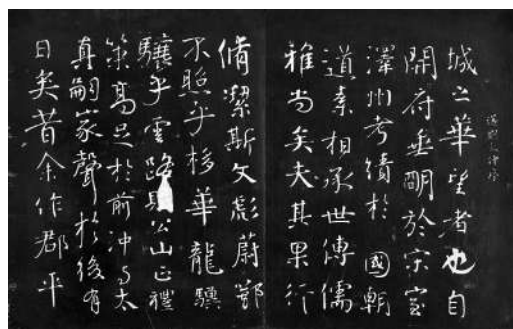
同 第九開



同 第十一開



同 (二)



忠義堂帖所收／送劉太冲序 (一)
(帖一集—061)



同 第二開



宋璟碑 碑陽第一開
(碑一顏—018)

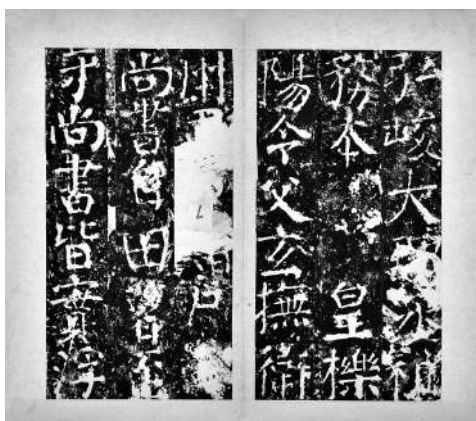
(十) 宋璟碑



同 第四開



同 第三開



同 第六開



同 第五開



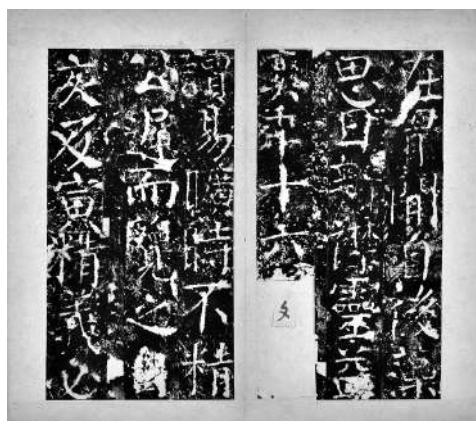
同 第八開



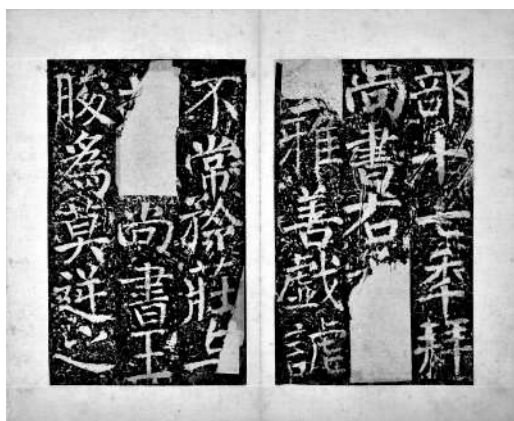
同 第七開



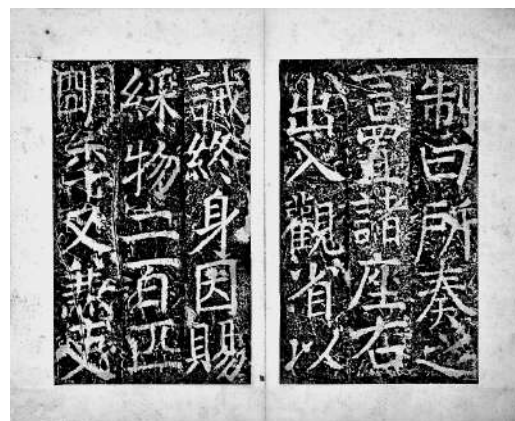
同 第十開



同 第九開



同 第二開



宋璟碑 碑陰第一開
(碑一顏—020)



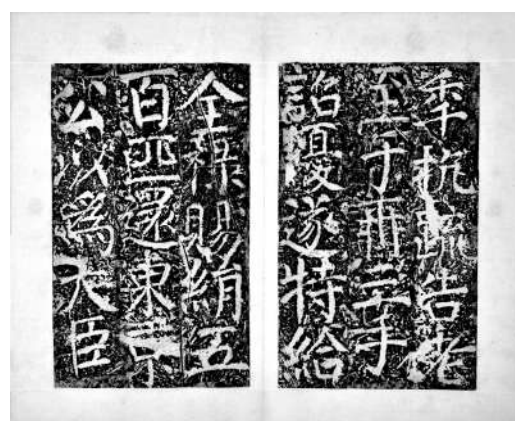
同 第四開



同 第三開



同 第六開



同 第五開



同 第八開



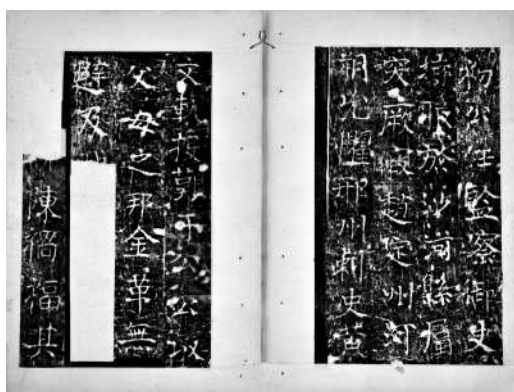
同 第七開



同 第十開



同 第九開



同 第二開



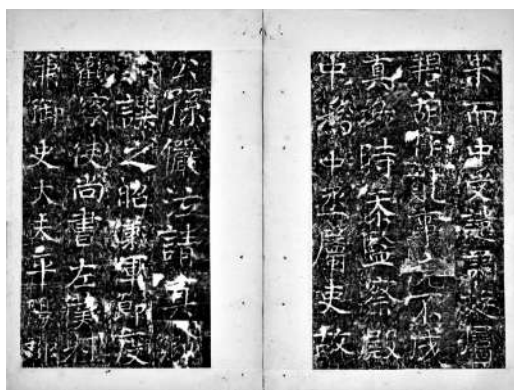
宋璟碑 側記第一開
(碑一顏—019)



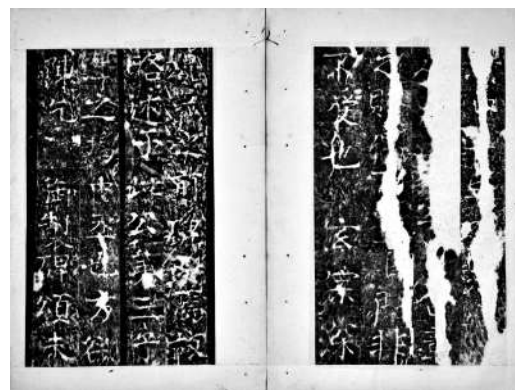
同 第四開



同 第三開



同 第六開



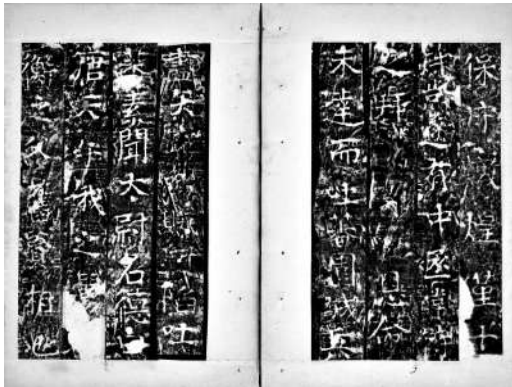
同 第五開



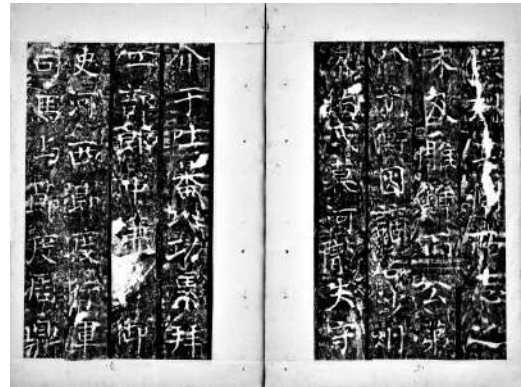
同 第八開



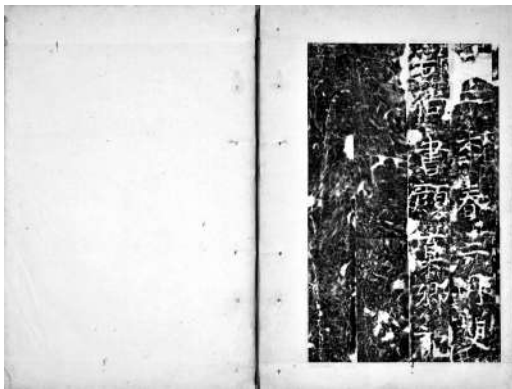
同 第七開



同 第十開



同 第九開



同 第十二開



同 第十一開



同 第二開



元結碑 碑陽第一開
(碑一顏—017)

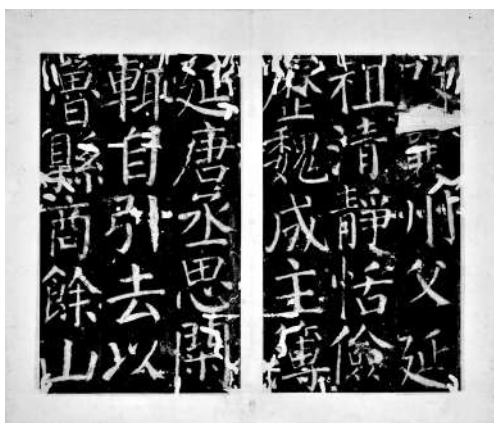
(十二) 元結碑



同 第四開



同 第三開



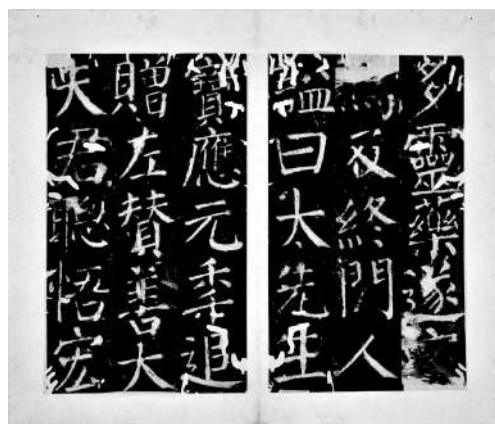
同 第六開



同 第五開



同 第八開



同 第七開



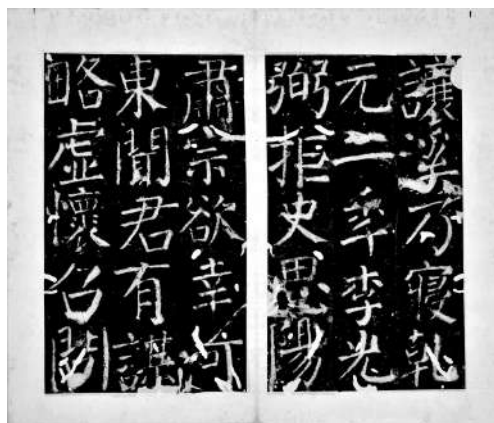
同 第十開



同 第九開



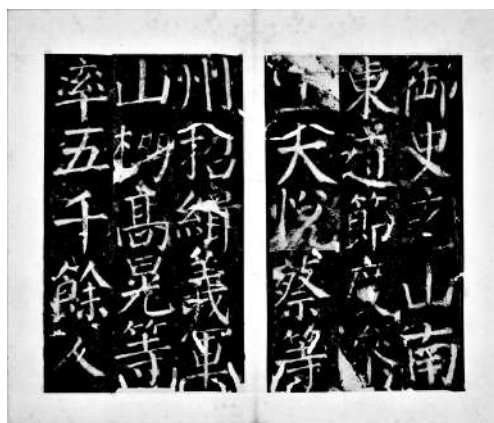
同 第十二開



同 第十一開



同 第十四開



同 第十三開



元結碑 碑陰第一開
(碑一顏—017)



同 第十五開



同 第三開



同 第二開



同 第五開



同 第四開



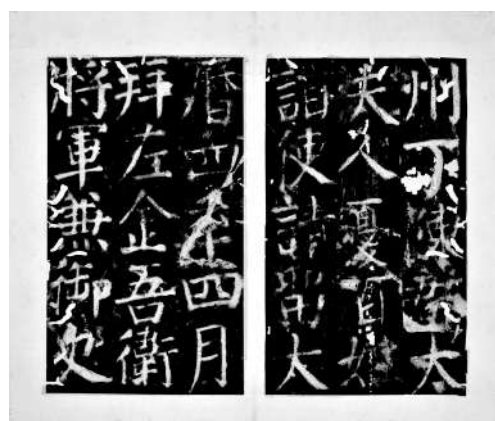
同 第七開



同 第六開



同 第九開



同 第八開



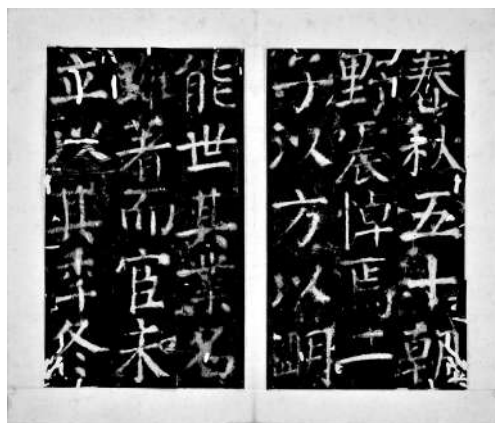
同 第十一開



同 第十開



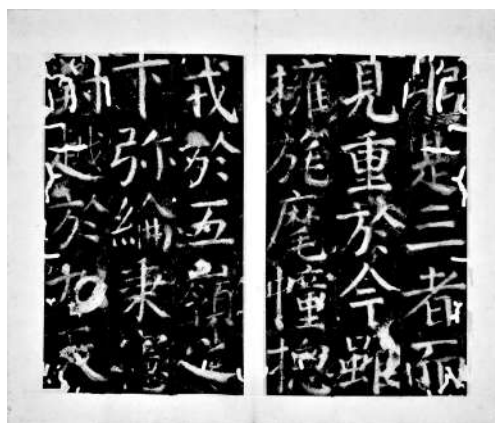
同 第十三開



同 第十二開



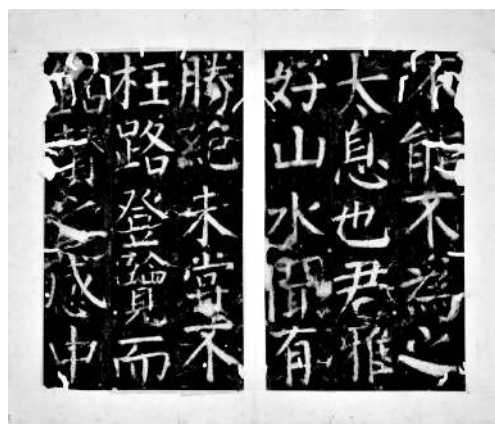
同 第十五開



同 第十四開



同 第十七開



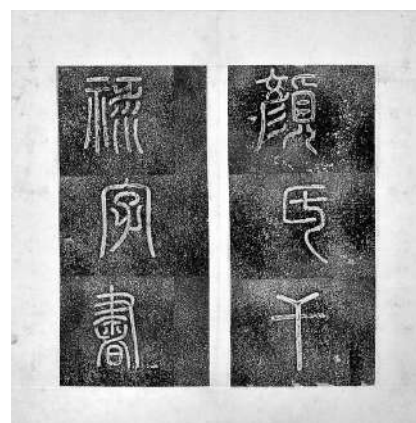
同 第十六開



同 第十八開



同 第二開



干祿字書 第一開
(碑一顏—031)



同 第四開



同 第三開



同 第六開



同 第五開



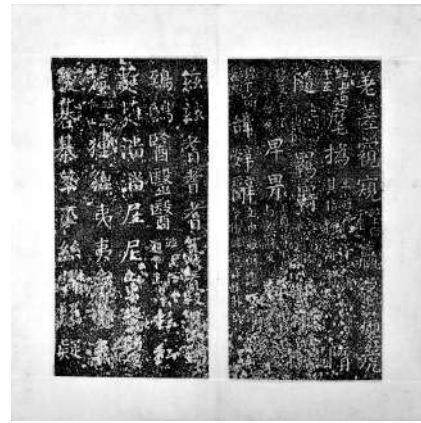
同 第八開



同 第七開



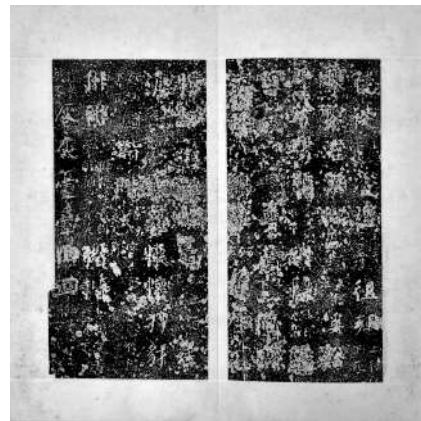
同 第十開



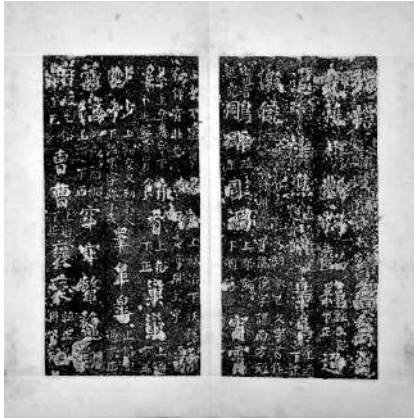
同 第九開



同 第十二開



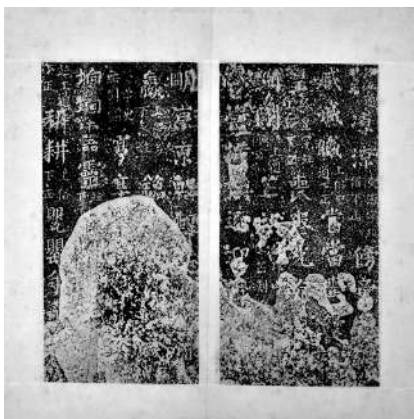
同 第十一開



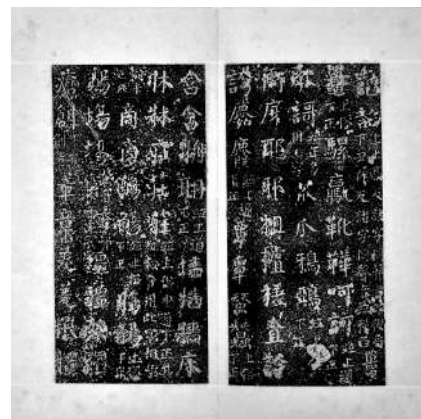
同 第十四開



同 第十三開



同 第十六開



同 第十五開



顏勤礼碑 碑陽第一開
(拓帖一113)



同 第二開



同 第三開



同 第四開



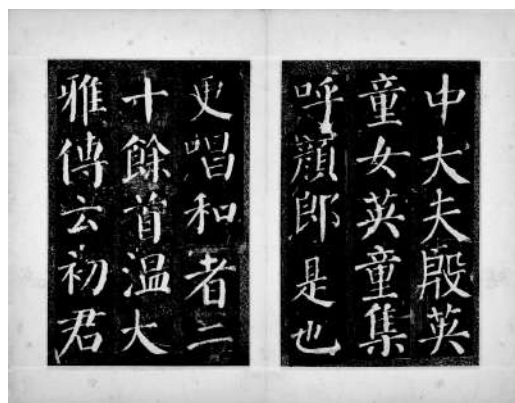
同 第五開



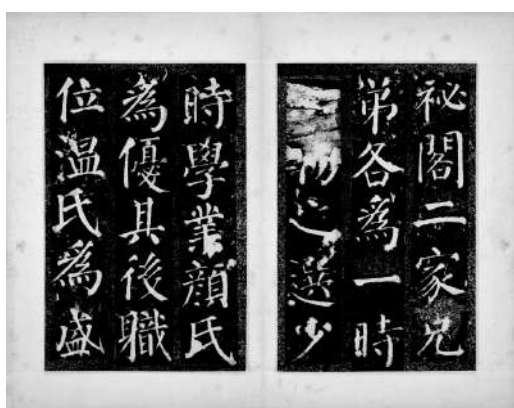
同 第六開



同 第七開



同 第八開



同 第十開



同 第九開



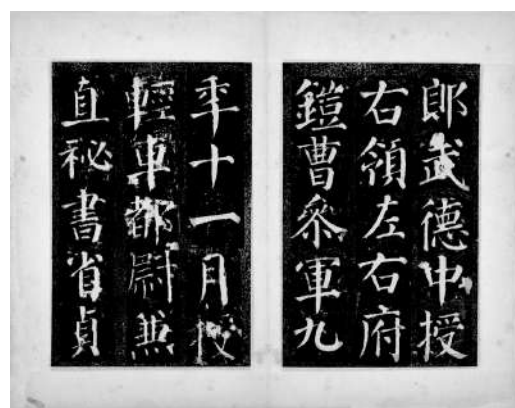
同 第十二開



同 第十一開



同 第十四開



同 第十三開



同 第十六開



同 第十五開



同 第十三開



顏勤礼碑 碑陰第十二開
(拓帖—113)



同 第十五開



同 第十四開



同 第十七開



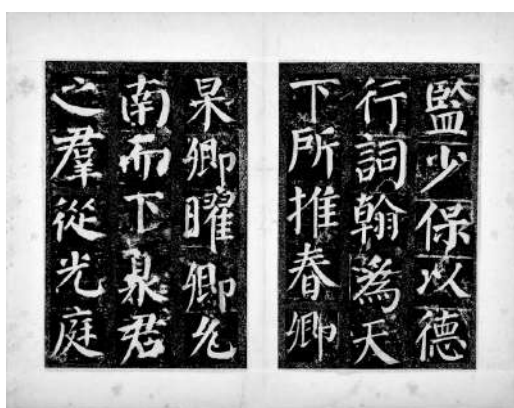
同 第十六開



同 第十九開



同 第十八開



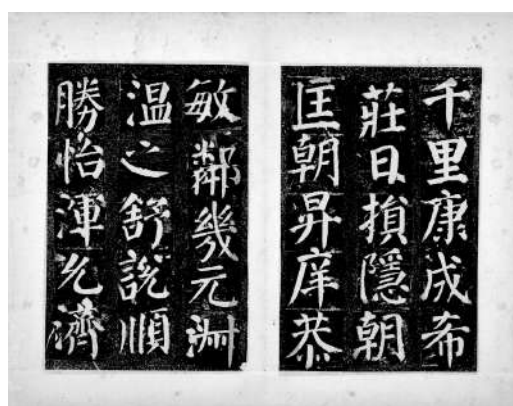
同 第二十一開



同 第二十開



同 第二十三開



同 第二十二開



同 第二十五開



同 第二十四開



同 (二)



顏勤礼碑 宋伯魯跋（一）
（拓帖—113）



顏氏家廟碑 碑陽第一開
(碑一顏—029)



同 第二開



同 第三開



同 第四開



同 第五開



同 第六開



同 第七開



同 第八開



同 第十開



同 第九開



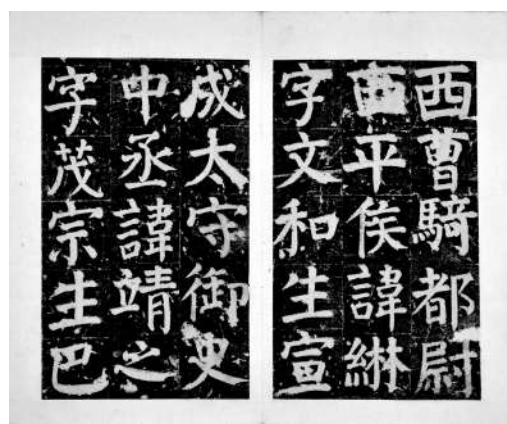
同 第十二開



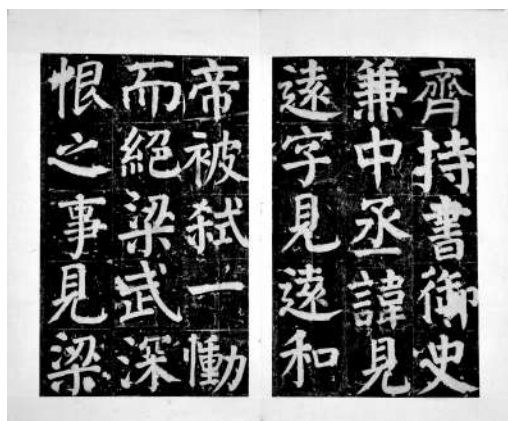
同 第十一開



同 第十四開



同 第十三開



同 第十六開



同 第十五開



同 第二開



顏氏家廟碑 碑側第一開
(碑—顏—029)



同 第四開



同 第三開



同 第六開



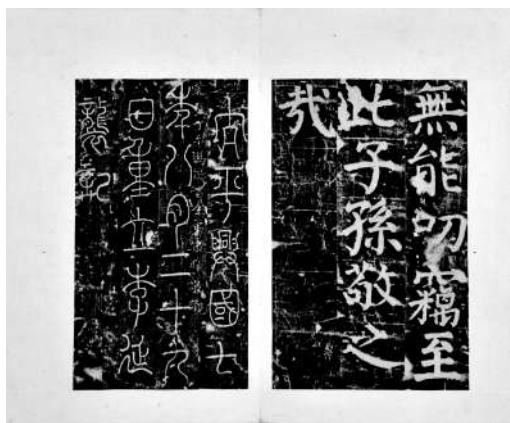
同 第五開



同 第八開



同 第七開



同 第十開 碑陽跋 (左)



同 第九開



顏氏家廟碑 碑陽跋
(碑—顏—029)



「繼源」
(1.1×1.2cm)
(帖—單—082 表紙裏)



「談繼源印」
(1.1×1.1cm)
(帖—單—082 表紙裏)



「繼源私印」
(1.5×1.5cm)
(帖—單—082 表紙裏)



「渠梁談氏」
(1.7×1.7cm)
(帖—單—082 表紙裏)

【主要収蔵印】



「陳潤生」
(1.6×1.6cm)
(碑—顏—025 最終開)



「元和錢氏仁壽堂珍藏」
(4.3×2.0cm)
(碑—顏—021 第一開)



「暫寄德三之子」
(2.9×3.1cm)
(帖—單—021 第一開)



「葛」
(2.7×0.9cm)
(碑—顏—021 外題部分)